

7/29

新幹線関係の用地を
現地視察

新 幹線新大村駅(仮称)周辺地域のまちづくりを考えるための2回目の委員会を、市コミセンで行いました。

委員の皆さんは、新大村駅(仮称)用地の周辺や車両基地用地を視察し、現況の説明を受けました。また、その後の会議では、計画範囲の設定や新幹線駅の役割などについて話し合いました。

委員会は一般公開して、誰でも傍聴できます。次回(第3回)は、10月に開催する予定です。

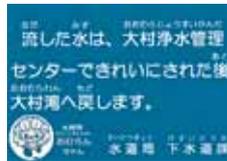


7/30

シールで子どもたちに
広報活動

日 本下水道協会主催の第1回GKP(下水道広報プラットフォーム)広報大賞において、本市下水道局が作製した「汚水行く先シール」が、行政広報部門賞を受賞しました。

このシールは水道局が、下水道の広報を考えるうえで、下水道が普及してから生まれた子どもたちに、汚れた水がどこへ行くのかを理解してもらおうと作成したもので、市内の小・中学校や市役所などのトイレなどに貼って、広報活動を行いました。



下水道広報大賞「部門賞」受賞



8/1

新しい給食センターが
稼働します

森 園町に建設していた「大村市小学校給食センター」が完成し、開所式を行いました。

式には、市長をはじめ学校関係者や工事関係者など約40人が出席。完成を祝うとともに、これからの安全稼働を祈願しました。

同給食センターは、高度な衛生管理のもとで、1日に約7,000食の給食を調理します。試運転を経て、夏休み明けの8月28日から、市内15小学校と6幼稚園に給食を届けます。

また、屋上には太陽光パネルを備え、省電力にも貢献しています。

大村市小学校給食センター開所式



8/2

高校生の文化の祭典を
県内各地で開催

高 校生の文化の祭典「第37回全国高等学校総合文化祭(しおかぜ総文祭)」が、7月31日から県内各地で開催されました。

本市では、マーチングバンド・バトントワリング部門を「輪つながる」をテーマに開催。2日、シーハットおむらで開会式と演技が行われました。

開会式では、市長が歓迎のことばを述べ、引き続き行われた演奏、演技では、全国から集まった46団体が、日ごろの練習の成果を十分に発揮し、大勢の観客の前で華麗な演技を披露しました。

「しおかぜ総文祭」マーチングバンド・バトントワリング部門開会式



8/2

県の施策について
要望活動

松 本市長をはじめ、地元選出県議会議員や市議会議員などが県庁を訪れ、県の施策に関する要望書を提出しました。

今回は、①新幹線新大村駅(仮称)周辺地域のまちづくり②一般国道34号大村拡幅の事業促進及び大村「諫早間の4車線化」③「郡三踊」の国の無形民俗文化財指定④二級河川郡川改修事業の促進⑤一般県道大村外環状線の早期整備促進⑥木場スマートインターチェンジ(仮称)の財政支援⑦新たな工業団地の整備支援⑧併設型中高一貫教育校の設置の8項目について要望しました。

県知事に要望書を提出

